



6 チーム一丸！ たすきを繋ぐ！

第58回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会は2月19日に鹿児島市役所前をスタートし、23日までの5日間、53区間、589.0キロを走り継ぐ熱戦が繰り広げられました。

曾於チームが郷土入りする第4日目、本町を通過する8区を激走したのは、昨年4年ぶりに復帰した平良集落出身の上平久志さんです。

沿道は、上平さんを応援する大勢の人で埋め尽くされました。

最終日のアンカーを努め見事3位でゴールしたのは、大崎第一中学校出身の米澤拓矢君（鶴翔高校2年）でした。

総合では、鹿児島が連覇を果たし、曾於チームは4位でした。

曾於チームの解団式で、持留光一監督は「Aクラス死守だけでなく、後半は3日連続で日間3位をとれた。5日間支えてくれた住民のおかげ」と沿道の応援に感謝の意を述べました。

4 図書館まつりを開催！

2月13日（日）、中央公民館大ホールで図書館まつりが開催されました。

大崎幼稚園の先生方による手話やふれあいあそび、平成21年4月に発足の野方小PTA親子読書会によるパネルシアター『はだかのおうさま』、教職員読書会『親書会』による読み聞かせ、大崎小PTA親子読書会の児童による発表『いのちについてのブックトーク』などが実演されました。

5 出身プロ野球選手へ郷土の贈り物！

2月20日（日）、大崎ソフトボール少年団員は、日南市の広島東洋カープのキャンプに参加している松山竜平選手に面会し、町から託された激励品を贈呈しました。

本町からプロ野球・大リーグへ挑戦している4名の現役選手の皆さん、これからも子どもたちへ夢を与え続ける存在として、怪我のないよう今年のご活躍を期待しています。